



平和の追求 クイック・ガイド

まず最初に、あなたの今の立場をこの中から選んでください。



自分が誰かに傷つけられたり、誰かの言動によって害を受けたように感じている。



誰かが自分以外の人を傷つけたり怒らせたりしたと思っている。



自分が誰かを怒らせたり、傷つけたようである。



他人二人の対立について相談を受けた。自分は直接に関わっていない。

次に、あなたの立場を表すマークを選んで、それをたどってください。

第一段階

神様との時間を持つ

まずお祈りをして、選んだマークのステップを行ってから、相手と話し合いをするかどうかを決めてください。

噂話を避ける



他人に関する軽々しい発言を誰にもしないようにしましょう。

箴言 16:28、25:8-10、26:20

自分の目から梁(はり)を取り除く



あなたもこの問題の一因でしょうか。この問題について、自分自身について、また相手について、客観的に、そして神様の観点から見る事ができない理由が、あなたの心の中にありますか。マタイ 7:3-5、1ペテロ 2:1

悔い改める



もしあなたもこの問題の一因であるのなら、神様と相手に自分が気付いた事を告白する準備をしましょう。どうしたら謙虚になって、相手に敬意を払い、自分のした事を正直に話せるでしょうか。次のような要素をあなたの告白に取り入れてください：責任を負う・具体的に自分の非を認める・言い訳をしたり、誰かを責めたりしない・心から悔恨の念を伝える。もしも自分が罪を犯したと思うのなら、聖書に基づいてそれを説明し、相手に与えた痛みと精神的負担を認めましょう。また、他にも何か自分が責任を取るべきことがあるかどうか、相手に聞いてみましょう。マタイ 5:23-24、2コリント 7:8-11、箴言 28:13、ヤコブ 4:6

分析する



この問題の本質は何でしょうか。文化の違い、性格の違い、ミスコミュニケーションによる誤解、意見の違いによる対立、それとも罪だと言えるでしょうか。お互いに対する期待はどうでしょうか。どちらかが期待に答えなかった、期待が明確でなかった、あるいは、期待が不平等だったということはありませんか。その期待は、正当で思いやりにあふれた納得のいくもので、相手にはっきりと伝わっていましたか。

箴言 23:23、エペソ 4:25

救す



自分の心の中で、そして神様のみ前で、あなたは相手を救しましたか。もしも相手が自分の非を認めて謝ったら、その人を救えますか。そして心からこのように祈る事ができますか。「イエス様であって、あなたが私を救ってくださいるように、私も彼らを救うことができますように。」「私があなたの恵みとあわれみを持って、彼らを見る事ができますように。」「過去の悪い思い出に縛られないように、私の思いを新たにしてください。」「この件について、誰に対しても、決して不適切な発言をしないように助けてください。」「彼らをあなたの愛で祝福してください。」「エペソ 4:31-32、箴言 17:9、コロサイ 3:13、ピリピ 4:8、マタイ 6:14-15、18:35

自分が適役であるかを問う



あなたが直接に相手と話すべきでしょうか。もしそうでなかったら、誰が良いでしょうか。箴言 26:17、マタイ 7:12

よく考える



自分が傷付けられた出来事に目をつぶる事ができるのなら、あなたはもう相手と話す必要はないかもしれません。しかし、よく考えてください。その人の言動は、本人や周りの人々、さらにはイエスの名と教会に悪影響を与えますか。それは聖書に書かれた罪でしょうか。またその言動は習慣的に繰り返されていますか。それとも一度だけの出来事でしたか。事態が重大であればあるほど、あなたは相手と話し合う必要があります。箴言 19:11、1ペテロ 4:8、コロサイ 3:12-14、ガラテア 6:1-2、ヤコブ 5:19-20、テス 1:7-9、マタイ 18:15、ピリピ 2:2-4

適切な助言を求める(必要であれば)



知恵があり、公平な判断のできる人に相談したら、あなた自身の立場をさらに深く理解することができるでしょうか。箴言 1:5、12:15、19:20

自分の責任について考える



もしもあなたが話し合いをしなかったら、あなた自身、相手、その他の人たちにどのような影響を及ぼすでしょうか。ガラテア 6:1-2、レビ記 19:17-18、ヘブル 10:24

正しく判断する



先入観を持って判断したり、早まった結論を出していませんか。誰かをえこひいきしていませんか。または自分に都合の悪い事実を否定したり、話を誇張していませんか。

箴言 17:15、18:17、レビ記 19:15、1テモテ 5:21、ヨハネ 7:24、マタイ 7:1-2

自分の心を探る



あなたの動機は何ですか。神様がそれを示してくださいるように祈りましょう。相手と話すか話さないかを決めた理由を、聖書のみ言葉を使って説明できますか。怒りをぶつけるため、相手に恥をかかせるため、また単に自分のやましい気持ちを取り除くために話し合いをするのは良くありません。根拠のない恐れ、プライド、相手に対する愛情の不足が、話し合いをする妨げにならないようにしましょう。詩篇 139:23-24

愛情を持って準備する



もしも話し合いをしようと思ったのなら、相手にどのように話を持ちかけたら良いでしょうか。相手の立場に立って考えてみましょう。あなたの意図と動機を確認してください。マタイ 7:12、ガラテア 6:1、箴言 25:8-10、ピリピ 2:2-44



あなたが直接関わっていない問題について誰かから相談を受けたら、まず自分がその役目にふさわしいかどうか判断しましょう。もし助けると決めたなら、祈って、その人がどの立場にあるかを示してあげましょう。そして次の指示に従ってください。

噂話を避ける

どんな人にも、人の悪口を言ったり、思慮の足りない発言をしない。

箴言 16:28、25:8-10、26:20

客観的に、公平な目で見る

その人が、自分の視点からだけでなく、相手の視点から状況を見ることができるように助けてあげてください。愛を持って真実を語りましょう。

箴言 18:17、エペソ 4:15、1テモテ 5:21

賢明なアドバイスをする

その人が第一段階のステップを正しく完了できるように、知恵を持って導いてください。「しかし、上からの知恵は、第一に純真であり、次に平和、寛容、温順であり、また、あわれみと良い実とに満ち、えこひいきがなく、見せかけのないものです。」 ヤコブ 3:17

神様が全ての信徒たちの人間関係に望まれていること

- 互いの間に平和な関係を持つ (マルコ 9:50)
- 互いに愛し合う (ヨハネ 13:34)
- 互いに献身する (ローマ 12:10)
- 互いに尊敬し合う (ローマ 12:10)
- 互いに心をつなげる (ローマ 12:16)
- 互いに裁き合わない (ローマ 14:13)
- 互いに受け入れる (ローマ 15:7)
- 互いに教える (コロサイ 3:16)
- 互いに戒める (コロサイ 3:16)
- 互いに熱心に正しい道を勧める (ヘブル 10:25)
- 互いに仕える (ガラテヤ 5:13)
- 互いに重荷を負い合う (ガラテヤ 6:2)
- 愛をもって互いに忍耐する (エペソ 4:2)
- 互いに親切にし、憐れみ深い人となる (エペソ 4:32)
- 互いに赦し合う (エペソ 4:32、コロサイ 3:13)
- 互いに従順になる (エペソ 5:21)
- 互いに偽りを言わない (コロサイ 3:9)
- 互いに慰め合う (2コリント 13:11)
- 互いに徳を高め合う (1テサロニケ 5:11)
- 互いに悪口を言い合わない (ヤコブ 4:11)
- 互いに不平を言い合わない (ヤコブ 5:9)
- 互いに罪を告白し合う (ヤコブ 5:16)
- 互いに祈り合う (ヤコブ 5:16)
- 互いに交わりを保つ (1ヨハネ 1:7)
- 互いに励まし合う (1テサロニケ 4:18)
- 互いの間で善を行う (1テサロニケ 5:15)
- 互いに挑発し合わない (ガラテヤ 5:26)
- 互いに人を自分よりも優れたものと思う。自分のことだけでなく他の人のことも顧みる。(ピリピ 2:3-4)

第二段階

もしも適切であれば、相手と会って話す

(平和を達成するために、一度だけでなく何回か会う必要があるかもしれません。)



▲ **愛をもって、相手に話しかける** もしも
● あなたが相手の立場だったら、いつ、どこで
◆ 会って、どのような態度で接して欲しいかを
考え、それに従って行動しましょう。
マタイ 7:12、ガラテヤ 6:1、箴言 25:8-12

▲ **相手の話を聞く** 「聞くには早く、語るに
● は遅く、怒るにはおそいようにしなさい。」
◆ 相手の話に関心を持って耳を傾けましょう。
ヤコブ 1:19、箴言 18:17、25:12

▲ **神様に喜ばれる会話をする** 相手を
● 責めるのではなく、あなた自身の気持ちや
◆ 考えをはっきりと伝えましょう。威嚇的でなく、
冷静な態度で、聖書のみことばを用いて明確に問題を指摘しましょう。
エペソ 4:29、箴言 15:1、25:11-12

▲ **赦す** もしも相手が自分の過ちを認めたら、
心から赦してあげましょう。ルカ 17:3-4

◆ **正直、謙虚、誠実な告白をする** 具体的に、
詳細に及ぶ告白を、後悔の念を表しながら伝える。
2コリント 7:8-11、箴言 28:13

◆ **もし相手が赦してくれたら、その赦し
ときよめを受け取る** 1ヨハネ 1:9

◆ **自分の間違いを正す** マタイ 3:8、
ヘブル 12:11、ガラテヤ 6:7-8

平和の追求: どうして?

- 平和に役立つことと、お互いの霊的成長に役立つことを**追い求めましょう**。
ローマ 14:19
- 全ての人と平和を**追い求めなさい**。
ヘブル 12:14
- 平和のきずなで結ばれて御霊の一致を守り続けるように**努めなさい**。
エペソ 4:3
- あなたがたは、**できる限り**すべての人と平和に過ごしなさい。
ローマ 12:18

平和の追求: 五つの柱

- 1 神様はあなたがすべての人々と平和に過ごすことをお望みです。
- 2 あなたの人間関係は、あなたと神様との関係を反映し、またあなたと神様の関係に影響を与えます。
- 3 全ての人は神によって造られ、愛されている特別な存在であることを覚えて接しましょう。
- 4 全ての人に対して、先入観を持たずに公平な態度で接しましょう。
- 5 あなたが聖書の教えに基づいて平和を追求すれば、すべての人は祝福されます。

